

歩み編さんだより

令和4年10月

Vol.9

『和泊町の歩み』編さん事務局発行

『和泊町の歩み』執筆者
リレーメッセージ

地中に眠る歴史情報を

簡潔に紹介

和泊町教育委員会文化財担当

考古学編執筆者 きたの北野 かんじゅうろう 堪重郎氏



今回、考古学分野の執筆で、沖永良部島をはじめ奄美群島・沖縄地域で埋蔵文化財の発掘調査経験が豊富で、数々の論文・著書を執筆されている意気衝天のお二人、いきしょうてん新里貴之先生（沖縄国際大学）、しんざとあきと新里亮人先生（熊本大学）と一緒に仕事をさせていただくこととなりました。

私は2004年4月から町教育委員会で文化財の仕事に就き、新里貴之先生には2009年のにしばる西原海岸遺跡（西原字）発掘調査やともぞう友竿遺跡（内城字）出土のグスク土器調査等、新里亮人先生には2015年のふうどう大当遺跡（畦布字）発掘調査や2013年以降継続中の世之主の墓（内城字）ほか沖永良部島のこぼぐん古墓群調査等でご指導を賜りました。

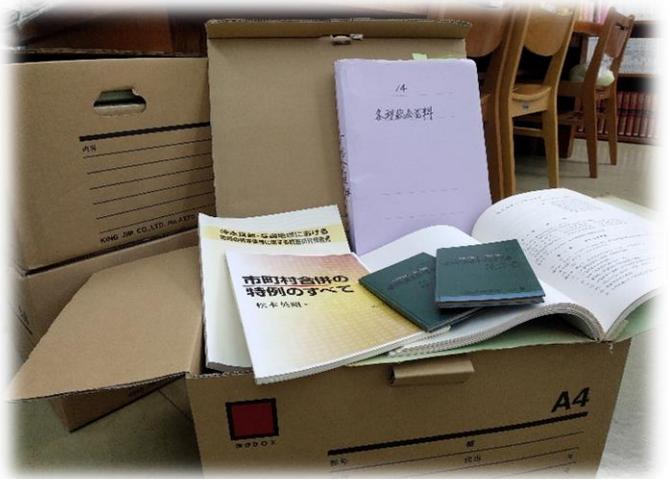
町民の皆さまや「和泊町の歩み」を手にとっていただく方々へ、これまで地中に眠っていた島の歴史情報を簡潔にまとめ、両先生のプロローグ（導入）・インデックス（見出し）となるような内容をお届けしたいと考えていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



元助役の山下忠弘氏 資料を多数寄贈



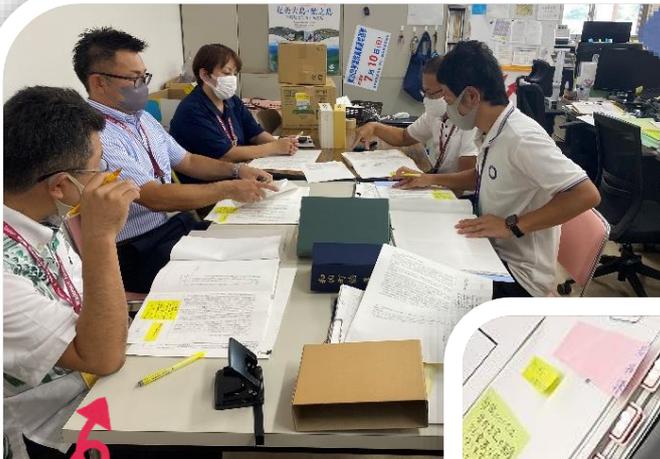
平成7年4月から17年7月まで10年
4か月にわたり和泊町助役を務められた
やましたただひろ
山下忠弘氏（根折字）より、助役時代の資
料が多数寄贈されました。



令和4年8月15日（火）、ご家族が編さん事務局へ届けてくださったのは、サンテナかご6個分の行政資料の数々。在任中に収集保管された各種団体総会資料や区長会関連資料、南3町・沖永良部2町の市町村合併論議に関する資料などです。事務局の先田光演氏（執筆編集員）がすべての資料に目を通し、整理分類作業を行いました。

たくさんの資料が丁寧にファイリングされている様子からは、真面目で勤勉な山下元助役の人柄が伝わります。先田氏は「在任期間に限られるが、当時の生の行政資料が記録されており貴重。一人の人がずっと継続して収集したことにも価値がある。今後、貴重な公的文書をアーカイブとして保存管理する必要がある」と話しています。

現役町職員も頑張ってます！



企画課との打ち合わせ風景

各課から集まる原稿



「和泊町の歩み」編さん事業の大きな特色の一つが、**現役町職員が行政編の基礎資料提供や原稿執筆に参画していること**です。町制80年の歩みを振り返る行政編は、記載すべき事項も多数に上ります。事務局と各課が密に情報交換しながら作業を進めています。

日常業務をこなしながら、編さん事業に協力してくださっている町職員の皆さん、本当にありがとうございます。

『和泊町の歩み』編さん室（事務局）

〒891-9112

大島郡和泊町和泊591番地

町立図書館 1階 郷土資料室内

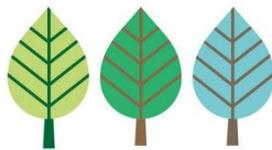
TEL：0997-92-3690（内線750）

和泊町教育委員会生涯学習係

TEL：0997-92-1111（内線366）

担当：木場浅葱（学芸員）先田光演（執筆編集員）

甲恵子（事務）市来美穂（編集助手）



まーちもーり

歩み編さん事務局では**古い写真や古文書等の資料を探しています**。提供いただいた資料は複写した上で必ずお返ししますので、お心あたりの方はご一報を！事務局は町立図書館内です。いつでも、お気軽にお立ち寄りください。

